

令和元年(2019年)10月1日

報道機関各位

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
国立大学法人北海道大学

北海道大学広域複合災害研究センターと道総研との 広域複合災害研究分野の連携と協力に関する覚書の締結について

このたび、国立大学法人北海道大学（以下「北海道大学」という。）広域複合災害研究センターと地方独立行政法人北海道立総合研究機構（以下「道総研」という。）は、相互に連携・協力することにより、広域複合災害にかかる研究の推進及び自然災害実務にあたる人材の育成に資することを目的に、広域複合災害研究分野の連携と協力に関する覚書を締結しました。

■概要

近年、自然災害が複合的・広域的に発生し、住民の生存基盤にとどまらず産業基盤にも大きな被害を及ぼしています。こうした現状を踏まえ、北海道大学では、効果的な減災に資する教育研究の促進や減災ガイドラインの策定、人材育成を目的に、平成31年4月1日に「広域複合災害研究センター」を設置しました。

道総研においても、地質研究所、北方建築総合研究所、林業試験場を中心に、農業、水産、森林、産業技術、環境・地質、建築の6研究本部が連携し、自然災害に対する防災・減災、災害対応、災害復旧について調査・研究を進めています。

これらの状況のもと、北海道大学広域複合災害研究センターと道総研は平成23年3月に締結した北海道大学と道総研の包括連携協定に基づき、相互に連携・協力することにより、広域複合災害にかかる研究の推進及び自然災害実務にあたる人材の育成に資することを目的として、広域複合災害研究分野の連携と協力に関する覚書を締結しました。

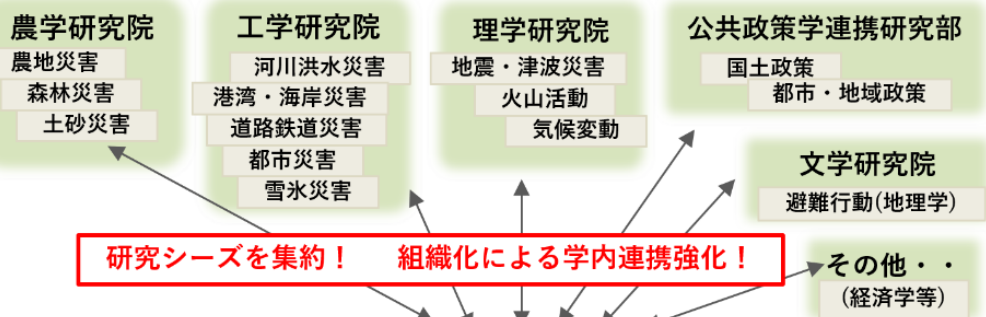
【お問い合わせ先】

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
連携推進部 渡邊 電話：011-747-2812
国立大学法人北海道大学広域複合災害研究センター
センター長 山田 電話：011-706-2513

北海道大学

これまでの、突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点、国土保全学研究室における関連機関との連携研究の実績、各災害分野における研究資源を活用し、予防予測、災害対応、復旧復興についてセンター設置により**一貫した総合研究を推進**

突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点 (H25～30) (H27～30)



研究シーズを集約！ 組織化による学内連携強化！

〔複合災害研究部門〕

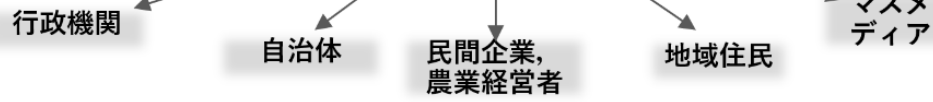
- ✓ 北海道地域特性を踏まえたモデルケースとして「**広域・連鎖複合型災害減災計画・ガイドライン**」を提案
- ✓ 自然災害発生時、**アドバイザーグループ**を結成・派遣し、効率的、効果的に対応 (ワンストップ対応)

広域複合災害研究センター

〔人材育成・アウトリーチ部門〕

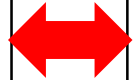
- ✓ 防災関連にかかる**教育プログラムの構築**，セミナー，研修等による防災関係者 (自治体等) への**リカレント教育**

社会ニーズの吸い上げ！ 研究成果の還元！



個別専門事象の研究活動

広域複合災害(一元対応)の研究活動



北海道立総合研究機構

農業	水産業	林業・林産業	環境・地質
ものづくり・食品産業・エネルギー		建築・まちづくり	

北大広域複合災害研究センターの研究者と連携して

- 地域づくりの視点から自然災害に負けない産業構造と社会システムの解明
- 災害時におけるライフラインの強化と戦略的な警戒・避難の研究
- 気候変動と大規模自然災害に対する減災・復興技術検討



- 強靱な社会構造と産業基盤に支えられた北海道づくりへの貢献
- 北海道民の安全と安心を育むサステナブルな生活基盤の構築
- 社会のレジリエンス(復元力)を強化する防災・減災・復興等技術の社会実装を実施する。